

新型コロナウイルス感染症に便乗した悪質商法

事例 1

携帯電話に、電話会社からメールが届いた。

「新型コロナウイルスの助成金として、毎月総額1億円を限定配布する」という内容だ。添付のURLを開いて振込口座情報を送信するようになっている。信用できるか。

事例 2

市役所の新型コロナウイルス対策担当を名乗る人物から電話があった。「市からお子様一人当たり3万円の助成金を配っています。キャッシュカードの番号または銀行口座を教えてください」という電話があった。

事例 3

SNSに「使い捨てマスクが購入できる」という書き込みがあったので、記載されていたURLから通販サイトにアクセスしマスクを注文した。注文完了のメールが届き、クレジットカードを登録するためのURLが添付されていた。いままでの通販と違う方法だ。不審だと思う。



アドバイス

- 怪しい電話は、すぐに切ってください。
- 怪しいメールは、無視してください。電話やメールなどで、「助成金がある。個人情報を教えて」などは詐欺です。
- 銀行口座番号や暗証番号などを教えないでください。
- キャッシュカードを渡さないでください。金融機関を装って、「新型コロナウイルス関連で確認が必要」といい、情報を取ろうとしています。
- クレジットカード番号の入力は慎重にしてください。SNSの書き込みや広告から不審なサイトに誘導する手口があります。